

介護実務者研修科③



基本的な介護の技術及び福祉用具に係る知識を習得し、在宅・施設を問わず介護関連業務を行う知識と技術の習得を目指します。



【募集案内】

資格取得目標	介護福祉士実務者研修修了/福祉用具専門相談員
カリキュラム	※詳細は裏面をご覧ください。
訓練期間	令和3年12月13日(月)～令和4年6月10日(金)【6か月間】
訓練時間	9時～16時又は17時
訓練施設	<p>ディスパッチカレッジ青森校 住所：青森市中央3-20-26 電話：017-718-1541 駐車場：月額3,000円(税込) *台数に限りがあり、遠方の方が優先となります。</p>
定員	20名
受講料	無料
自己負担額	◇テキスト代:約16,200円 ◇職業訓練生総合保険:4,800円/6か月(施設実習があるため加入必須です。) ◇施設実習前に健康診断が必要ですが、詳細は訓練初日のオリエンテーション時に説明しますので、事前に行う必要はありません。実費負担となり金額は実施機関により異なります。



対象者	ハローワークに求職申込みを行い、ハローワークの受講指示・受講推薦・支援指示のいずれかを受けた方。
応募書類	受講申込書(各ハローワーク・ハローワークヤングプラザに備え付けてあります。) *受講申込書には写真(縦30mm×横24mm)の添付が必要になります。
応募先	各ハローワーク・ハローワークヤングプラザ
募集期間	令和3年10月11日(月)～令和3年11月22日(月)
選考方法	訓練の必要性等を総合的に勘案し書類選考します。
選考結果	本人あてに郵送により通知します。【令和3年12月2日(木)発送予定】



※本訓練は、受講希望者の応募状況等により実施されない場合がありますので予めご了承ください。

お申し込み
・
お問い合わせ

ハローワーク青森 017-776-1561
 ハローワーク弘前 0172-38-8609
 ハローワーク野辺地 0175-64-8609
 ハローワーク五所川原 0173-34-3171
 ハローワーク黒石 0172-53-8609
 ハローワークヤングプラザ 017-774-0220

実施主体

青森県立青森高等技術専門学校
 青森市大字野尻字今田43-1
 017-738-5727

訓練カリキュラム

コース区分	知識等習得	訓練科名	介護実務者研修科③	定員	20名
訓練期間	令和 3 年 12 月 13 日 ～ 令和 4 年 6 月 10 日				6 か月間
想定就業先	介護関連施設、医療機関における介護職員				
訓練目標	介護利用者に対する基本的な介護技術及び福祉用具に係る知識を習得し、在宅・施設を問わず介護関連業務を行う能力を養成				
仕上がり像	幅広い利用者に対する基本的な介護技術を有し、福祉用具に係る助言・提案ができる人材				
資格取得	取得を目指す資格	介護福祉士実務者研修修了、福祉用具専門相談員			
	取得可能な資格	介護福祉士実務者研修修了、福祉用具専門相談員			
学 科	科 目		科目の内容		時間
	普 通 学 科	1	ガイダンス	開講式、閉講式、オリエンテーション	30
		2	就職支援	履歴書の作成、自己PR、キャリアコンサルティング等	
		小 計			
	専 門 学 科	1	職業能力基礎講習	自己理解、仕事理解、職業意識、職場内のコミュニケーション、聴き方・話し方、ビジネスマナー	6
		2	人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立	6
		3	社会の理解 I	介護保険制度	6
		4	社会の理解 II	生活と福祉、社会保障制度、障害者自立支援制度、介護実践に関する諸制度	36
		5	介護の基本 I	介護福祉士制度、尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の倫理	12
		6	介護の基本 II	介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護福祉士の安全	24
		7	コミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション技術、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	24
		8	介護過程 I	介護過程の基礎的知識、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ	24
		9	介護過程 II	利用者の状態（障害、要介護度、医療依存度、居住の場、家族の状況等）における事例、事例における介護過程の展開、観察のポイント、安全確保・事故防止、家族支援、他機関との連携考察	30
		10	介護過程 III	介護過程の展開の実際	30
		11	こころとからだのしくみ I	介護に関係した身体の仕組みの基礎的理解（移動・移乗、食事、入浴、清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔）	24
		12	こころとからだのしくみ II-1	人間の心理、人体の構造と機能	48
		13	発達と老化の理解 I	老化に伴う心の変化と日常生活への影響、老化に伴うからだの変化と日常生活への影響	12
		14	発達と老化の理解 II	人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病等と留意点	24
		15	認知症の理解 I	認知症ケアの理念、認知症による生活障害、心理・行動の特徴、認知症の人とのかかわり・支援の基本	12
		16	認知症の理解 II	医学的側面から見た認知症の理解、認知症の人や家族への支援の実際	24
		17	障害の理解 I	障害者福祉の理念、障害による生活障害、心理・行動の特徴、障害児者や家族へのかかわり・支援の基本	12
		18	障害の理解 II	医学的側面から見た障害の理解、障害児者への支援の実際	24
		19	医療的ケア	医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引（基礎的知識・実施手順）、経管栄養（基礎的知識・実施手順）	60
		20	福祉用具と福祉用具専門相談員の役割	福祉用具の役割、福祉用具専門相談員の役割と職業倫理	4
		21	介護保険制度等に関する基礎知識	介護保険制度等の考え方と仕組み、介護サービスにおける視点	6
		22	高齢者と介護・医療に関する基礎知識	からだとこころの理解、リハビリテーション、高齢者の日常生活の理解、介護技術、住環境と住宅改修	22
		23	個別の福祉用具に関する知識・技術	福祉用具の特徴	10
		24	福祉用具に係るサービスの仕組みと利用の支援に関する知識	福祉用具の供給の仕組み、福祉用具貸与計画等の意義と活用	9
		25	福祉用具専門相談員修了評価	確認試験等	2
		26	修了評価	修了テスト	5
27		安全衛生	労働衛生管理、安全衛生	1	
小 計			497		
学 科 計					527
実 技	1	生活支援技術 I	生活支援とICF、ボディメカニクスの活用、生活支援技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等）、環境整備、福祉用具の活用等の視点	24	
	2	生活支援技術 II	利用者の心身の状態に合わせた生活支援技術（環境整備、移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清掃、休息、睡眠、人生の最終段階における介護、福祉用具等の活用）	38	
	3	介護過程 III	介護過程の展開の実際、介護技術の評価	24	
	4	こころとからだのしくみ II-2	人間の心理、人体の構造と機能、身体の仕組み、心理・認知機能等を踏まえた介護におけるアセスメント・観察のポイント、介護・連携等の留意点（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護）	24	
	5	医療的ケア演習	喀痰吸引演習（口腔、鼻腔、気管カニューレ内部）、経管栄養演習（胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養）、救急蘇生法演習	18	
	6	個別の福祉用具に関する知識・技術	福祉用具の活用	10	
	7	福祉用具の利用の支援に関する総合演習	福祉用具による支援の手順と福祉用具貸与計画等の作成	6	
	8	企業実習	施設サービス、居宅サービス（訪問介護、通所介護、短期入所生活介護）、地域密着型サービス（グループホーム、小規模多機能型居宅介護）、障害福祉サービス	24	
実 技 計			168		
総 合 計					695